

## 観光社会資本の事例

テーマ	世界に誇れるいやし空間、お庭の国宝<特別名勝>栗林公園	
【施設の状況写真】		
		
<p>&lt; 飛来峰からみた南湖全景 &gt; 本園南端にある芸術性の豊かな大池泉。本園中最も古く回遊式庭園として作庭された南庭にある。東部に高くそびえる築山・飛来峰からの眺めが見どころとなっている。</p>	<p>&lt; 歴代藩主がこよなく愛した大茶屋・掬月亭 &gt; 江戸時代初期に建てられたものと推定される数奇屋風書院造の建物。抹茶・煎茶をいただきながらの眺めは、まさにいやし空間で殿様気分を味わえる。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>&lt; 春・秋のライトアップ &gt; 桜や紅葉の美しい時期に公園をライトアップし、普段見られない公園の美しさを県内外の多くの来園者に堪能してもらっている。</p>	<p>&lt; 掬月亭での月釜 &gt; 歴代藩主が大茶屋と呼んで愛用した「掬月亭」では、年間 8 回、定期的に各流派による月釜を開催している。気軽に誰にでも参加でき、好評を博している。</p>	<p>&lt; 庭園コンサート &gt; 紫雲山の緑をバックに、定期的にコンサートを開催している。多様なジャンルの音楽をさまざまな年代の来園者を楽しんでもらっている。</p>
【観光資源としての利用状況】		
<p>長い年月をかけ、多くの人たちによって受け継がれてきたお庭の国宝ともいえるべき文化遺産です。国の特別名勝に指定されている庭園の中で最大の広さをもつ栗林公園は、緑の濃い紫雲山を背景に6つの池と13の築山を巧みに配し江戸時代初期の回遊式大名庭園として、すぐれた地割り、石組みを有し、木石の雅趣に富んでいます。春のウメ・サクラ、夏のハナショウブ・ハス、秋のカエデ、そして冬のツバキと四季折々の風物にも恵まれ、ここに咲く花々は、一步一景といわれる変化に富んだ回遊式大名庭園の美しさをいっそう醸し出し、世界に誇れるいやし空間として、ゆったりとした時間を過ごすことができます。</p>		
<p>また、桜や紅葉の美しい時期には、ライトアップを行い、新たな公園の魅力を生み出したり、庭園コンサートや月釜などのイベントの開催により県内外の多くの来園者を楽しんでいただいています。</p>		
<p>香川県の主要観光地として年間入園者数は50万人を超え、名実ともに四国有数の観光資源となっています。</p>		

テーマ	世界に誇れるいやし空間、お庭の国宝<特別名勝>栗林公園
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 栗林公園</p> <p>所在地 香川県高松市栗林町1丁目20番16号</p> <p>事業名 栗林公園整備事業</p> <p>事業主体 香川県</p> <p>事業期間 明治8年～県立公園として一般公開</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>地域観光振興</p> <p>栗林公園は、県内老舗観光地である琴平、屋島、小豆島などと並んで全国ブランドの観光地として有名であり、年間50万人余(有料入園者の9割は県外観光客)の観光客を安定して集客している県内有数の特筆すべき観光地です。</p> <p>また、全国で23ある特別名勝庭園の中で日本一の広さを誇り、景観の美しさも高い評価を受けている栗林公園は、忙しい生活を過ごす現代人が必要としている「いよしの空間・時間」のニーズにふさわしい観光地です。さらに、新規イベントとして春の桜・秋の紅葉のライトアップなど新たな魅力を発信することにより、県外から大勢の観光客を集めている栗林公園の影響力の大きさは計り知れないものがあり、地元を含め県内の地域観光振興の軸として多大なる役割を担っています。</p> <p>歴史的文化遺産である貴重な文化財</p> <p>栗林公園は、全国で23ある特別名勝の中でも内外から特に評価の高いわが国を代表するお庭の国宝ともいべき文化財庭園であり、現存する数少ない地方大名の庭園として、今後もその文化財としての価値を後世に受け継ぐ必要があります。都市における身近な文化財として、地域の歴史や文化を知り、学習することが可能な空間としても位置づけられています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>栗林公園ホームページ <a href="http://www.pref.kagawa.jp/ritsurin/">http://www.pref.kagawa.jp/ritsurin/</a></p>	

